

速水流 新緑の茶事のご案内

茶道速水流の家元『滌源居』で毎年行われている春の茶事は、今年も3月末から約2週間十分なコロナ対策の上 実施され無事終了しました。私はかねてから六本木ロータリーの皆様にも伝統の本格的な茶事を体験していただく機会を作りたいと考えていましたので、この度小篠さんの神戸ファッショニベントに合わせて特別に計画してみた次第です。つきましては下記の通りご案内しますのでどうぞご出席ください。

日時：5月16日（日）10時半集合

場所：『滌源居』 京都市北区平野鳥居町前79

会費：5万円

人数は5名までとさせていただきます。参加希望者が多い場合は、13日（木）

17時半～21時の夜咄の茶事もご用意いたします。

なお、コロナの状況によっては中止せざるを得ないこともありますのでご了承ください。

申し込みは苅田吉夫まで：090-9837-8795

茶道速水流とは、江戸時代に速水宗達という茶人によって創始された流派です。流祖宗達は日本の茶湯の起源から侘び茶にいたるまでの経緯を学究的に追究し、足利義教と後花園天皇の茶湯の点法とその茶道観を再興しました。流祖が完成させた雲上人のための丁寧で優雅な所作は宫廷風といわれ光格天皇（明治天皇の曾祖父）から熱く支持をされ、弟君の聖護院宮盈仁親王や公家や大名の師となりました。また、関白一條忠良公から「滌源」と名を賜り、速水流家元茶室は「滌源居」となりました。

※内輪だけなので作法を気にされる必要はありません。正座が苦手な方には椅子もご用意できます。